

平成28年度 武田薬品工業株式会社湘南研究所の環境保全に関する
連絡会議議事要録

日 時 2016年(平成28年)5月26日(木)10時から
場 所 武田薬品工業株式会社湘南研究所会議室
出席者 村岡地区自治町内会連合会、小塚町内会、小塚東町内会、高谷町内会、
宮前町内会、渡内町内会、渡内北町内会及び渡内西町内会の代表(8名)
武田薬品工業株式会社湘南研究所医薬研究本部EHS・コンプライアンスグループ、グロ
ーバル製薬サプライ日本アジアエンジニアリング部湘南施設管理グループ、コーポレートビジネ
センターパーソナル&アドミニストレーション部湘南オフィス(7名)
藤沢市役所環境保全課、保健所生活衛生課、下水道業務課及び村岡公民館
職員(8名)

議題・内容

1 あいさつ

藤沢市、町内会、武田薬品工業の代表者あいさつの後、次第にしたがって進められ
ました。

2 議題

(1) 藤沢市からの報告

市民から、タケダーサイラ共同プログラム(山中京都大学教授との共同研究)に
対する環境安全に関する問い合わせがあり、十分な安全対策のもと研究を行うこと
をお答えしています。また、防災広場の草刈りに関する問い合わせがあり、地元町
内会と調整中であることをお答えしました。

市民団体から、タケダーサイラ共同プログラムに関して研究目的、実験内容、環
境安全体制について、この連絡会議で質問してほしいとの要望をいただきましたの
で、ご説明をいただきたいと思えます。

市議会では、9月議会の決算委員会及び2月議会の予算委員会で遺伝子組換え生
物等を含む廃液処理方法について、及び専門家や幅広い市民による協議会を設置す
べきとの質問がありましたが、市からは、文部科学省や本市の立入検査で問題無い
ことを確認していること、現状の連絡会議で十分機能していることをお答えしてい
ます。

行政による環境安全の確認については、環境保全課、下水道業務課、保健所等の
関係各課が連携して立ち入り検査等により問題のないことを確認しております。今
後とも、行政では環境安全の確認を行ってまいります。

(2) 武田薬品工業からの報告

1) H27年度「環境測定結果報告」

環境測定結果について、排水は毎月1回行いました。法令基準値よりも厳しい管
理目標値を設定し管理していますが、管理目標値を上回ることはなく、順調に管理

が出来ております。

大気への排気は、ガスエンジン4台及びボイラー30台を測定しましたが、窒素酸化物及びばいじんの管理目標値を超えることはありませんでした。

騒音は、敷地境界の6か所で年4回測定しました。8月の夜間2か所で虫の鳴き声の影響により、管理目標値を超えましたが、武田薬品工業の施設からの音ではないことを確認しています。

振動も騒音と同じ地点で測定しましたが、管理目標値を下回っていました。

臭気は、夏の窓を開ける時期に測定を行いました。敷地境界の4地点とも管理目標値以下でした。

2) 協定書に係る覚書の一部改正について

排水項目のトリクロロエチレンについて、法令基準値が 0.3 (mg/L) から 0.1 (mg/L) に改訂されましたので、管理目標値も 0.15 (mg/L) から 0.05 (mg/L) に改訂しました。

3) 「環境モニター」推薦依頼

例年どおり、各町内会から1名の方のご推薦をお願いします。

4) その他の報告事項 コミュニティー活動等

① ボランティア清掃

敷地外周の清掃を、昨年は年4回実施しました。今年も4回を予定しており、第1回目を5月26日(本日夕方)に予定しております。

② 秋まつり

10月2日に第4回秋祭りを開催しました。5,000名近くの方が来場されました。

③ 「桜と新緑を楽しむ散策」

3月27日に1,500名を超える方が来場し、咲き始めた桜を觀賞していただきました。

5) その他

① 希少植物の保存活動について

これまでも取り組んできましたが、敷地内に自生している希少植物であるミゾコウジュなどの保存活動を行っています。

② タケダ-サイラ共同プログラムについて

心不全、糖尿病、神経疾患、がん、難治性筋疾患などの領域を中心に現在7つのプロジェクトが同時に進められています。

使用する実験室は、従来から行っている通常の生化学の実験室と同じで、iPS細胞ということで特殊な設備などはありません。また、病原性の強い微生物

も使用することはありません。したがって、従来から行ってきた武田薬品湘南研究所の環境安全対策を着実に徹底して行っていくという方針です。

教育訓練に関しては、共同研究に参加するサイラの研究者は、環境保全協定を含めた環境安全、防災、遺伝子組換え実験等に関わる湘南研究所の規則・ルールを遵守するため、教育を受けてから実験を行います。

③ 環境安全衛生方針について

このたび、湘南研究所において環境や安全衛生の活動を行っていく上で最も基本的な方針を定めました。この環境安全衛生方針は次の5項目から成ります。

1. 法的小よびその他の要求事項を確実に遵守すること。
2. リスクを可能な限り低減すること。
3. 継続的に改善を進めること。
4. 教育と啓発を行うこと。
5. 社会とのコミュニケーションを進めること。

今後この方針に基づいて環境安全衛生活動に取り組んでまいります。

3 質疑

町内会 湘南研究所で働いている人の人数は？タケダーサイラでどのくらい増えるのか？

武田 現在社員が1,200人くらい、協力会社の社員が500人くらいです。タケダーサイラでは、最終的に100人ほどが従事する計画であり、京都大学からの研究者が50人くらい増える見込みです。

町内会 市が行う環境保全に関する検査はどのようなもので、年に何回くらい行っているのか。

藤沢市 土木部が行う排水の検査が年に6回ほどあります。また、新しい設備が設置されるとその完成検査をその都度行っています。年1回程度になります。土木部、保健所、環境部が合同で排水、排ガス等の測定結果の確認、各種の点検記録の確認、環境保全関係の作業手順書等の確認を行っています。

町内会 環境測定結果の排水で全有機炭素（TOC）の最小値が「0」となっているが、普通は定量下限値未満との表記になるのではないか。

武田 連続自動測定器での測定結果となるので、機械的に「0」と表示されます。分析室で分析した場合は、定量下限値未満となります。

町内会 同じく沃素（ようそ）消費量という項目がありますが、管理目標110に対して最大でも10と非常に低いですが、どういう検査項目になるのか。

藤沢市 有機物質等の還元性物質によって消費される沃素の量のことですが、下水道管の保全のため調べる項目です。

町内会 湘南研究所の環境安全衛生方針を町内に周知したいと思います。町内会長に配付していただけないでしょうか。

武田 社内文書ですので、文書の配布はご容赦ください。議事録に概要を記載いたしますのでご利用くださいますようお願いいたします。

町内会 武田薬品の従業員には、社宅に住んでいる方や新しく家を建てた方とも、高谷町内会に協力してもらい助かっている。新しく家を建てた方は、今年

から役員になっていただき、町内会の色々な場面で積極的に活動いただけることに、御礼申し上げます。今後ともよろしくお願いします。

以 上